



ゴルフ部会

部会長：金子 孝司

平成7年の東久留米稲門会発足時より活動を始め平成15年までは春・秋に稲門会コンペを、平成6年からは東久留米三田会との対抗戦も春・秋開催となり年4回のコンペを開催しております。令和元年までに実施した稲門会コンペは43回、三田会との対抗戦は30回になります。三田会との対抗戦は始めた頃は三田会が優勢でしたが稲門会が盛り返し現時点では15勝15敗となっております。

コンペ開催のゴルフ場はプレイ代の安い玉村ゴルフ場（群馬）、河川敷とは思えない本格的な熊谷ゴルフ（埼玉）が1番、2番となっております。三田会との対抗戦は最近飯能グリーンゴルフ（埼玉）での開催が多くなっております。近年、クラブ員の高齢化に伴い、遠くへの車移動、セルフプレイは辛いとの声もあり、近場でキャディ付きでのプレイを考えております。

新型コロナウイルス感染防止の為に、令和2年から現時点（令和3年8月）までコンペの開催は出来ませんでした。ワクチン接種も済みましたので、令和3年秋の稲門会コンペから再開したいと考えています。現在のクラブの悩みは高齢化に伴い、参加者が減って2組での開催もありました。最低でも3組での実施としたいです。クラブ員以外の校友、ご家族の方の参加も歓迎します。



ゴルフ部会

部会長：金子 孝司

平成 7 年の東久留米稲門会発足時より活動を始め平成 15 年までは春・秋に稲門コンペを、又平成 16 年からは東久留米三田会との対抗戦も春・秋各 1 回開催となり現在は年 4 回ゴルフ会を開催しております。平成 27 年前半までに実施したコンペは合計 64 回（内三田会との対抗戦は 23 回）に及んでおります。

稲門会ゴルフ部会は故太田晴之助さん（S32 年卒）を中心に創設され三田会との対抗戦も同氏の多大なご尽力でスタートしました。20 年の部会活動の内、後半の 10 年に

ついては個人スコア等詳細記録が残ってます。部会員で希望あればデータをお渡しできます。平成 16 年以降の開催ゴルフ場は玉村ゴルフ場（群馬県玉村町）20 回、熊谷ゴルフ倶楽部（埼玉県熊谷市）15 回、その他 6 ゴルフ場で 10 回。料金が格安の玉村と本格的なコースで人気の熊谷が圧倒的に多くなっております。

三田会との対抗戦は新ペリア方式による各会ネットスコア上位 4~6 名の合計でもって団体賞を競うもので現在まで稲門会は 9 勝 13 敗 1 分けと不本意な戦績です。第 1 ステージの第 10 回大会までは稲門会の戦力が整わなく 2 勝 8 敗で対抗戦の体をなしていませんでしたが臥薪嘗胆の甲斐ありその後の 13 回は 7 勝 5 敗 1 分けと稲門会が勝ち越しという結果です。プレー終了後東久留米に戻って懇親会を兼ねた表彰式を開くのが恒例となっておりよきライバルとして相手の健闘をたたえあい和やかなうちに盛り上がる楽しい場になっております。三田・稲門両会の友好が深まったことを記念して早慶エンブレム入りの共通の帽子を新調し大会当日はそれをかぶってプレーしております。対抗戦ということで当初は負けたチームが懇親会飲食費を割り増し負担することとしてましたが今は特別なルールはなく勝ったチームは団体賞という名誉だけです。

稲門会のエースは上原徹也さん（S40 年卒）で早慶ゴルフ会で最多の 5 回優勝、平均グロス 84 ストローク、片や三田会は菊地輝彦さん（S40 年卒）で 2 回の優勝、平均ストローク 84、圧巻はグロス 72、ハンディキャップゼロ、ネット 72 という驚異的な優勝記録を残したことです。

ゴルフ部会の最も華やかなイベントの三田会との対抗戦をメインの記事としました。稲門ゴルフ部会員は現在 20 名弱ですがメンバーが固定気味でなかなか増えず新規参加者を待ち望んでおります。上手な人も多いですが小生のようにグロス 110 の壁を破れない下手くそも懲りずに参加していること申し添えます。